

# 平成6年度 特別会計 事業会計 予算

平成6年度の特別会計・事業会計の  
予算をお知らせします。

歳入は、保険給付費が七億六千五百七十七万七千円と大幅な減額。また、老人保健医療費拠出金は、医療費の安定化により二億二千六百八十六万五千円を見込み、健康センター併設の国民健康保険健康づくりセンター建設事業費一億円を一般会計へ繰り出します。歳入は、保険税四億四千二百二十三万五千円、国庫支出金四億五千六百三十一万七千円、療養給付費交付金一億一千六百七十八万八千円、保険基金安定制度等の繰入金を含めた一般会計からの繰入金五千七百三十三万三千円などを見積りもります。

老人保健の制度が発足して十一年が経過しましたが、老人一人当たりの医療費が県下最高という状態であり、一般会計及び国保会計の負担増となり大変苦慮しています。しかし、さいわいにも平成四年度は微増、五年度は減額が見込まれることから、六年度予算は老人加入増にもかかわらず、前年度比一・九％減の十八億七千七百一十千円を計上しました。歳入は、支基金交付金十三億三千二百二十七万、国庫支出金一億七千七百八十八万七千円、繰入金一億三千七百七十一万二千円など。歳出は大部分が医療諸費の十八億五千九百九十八万六千円を計上しています。

「安全でおいしい水」をこの住民ニーズに答えるべく、水質監視の強化、浄水場施設の整備及び老朽管の更新等の事業を推進し、経営の健全化に努めます。給水戸数では前年度比で二百二十戸増の七千八百七十戸年間給給水量は三百七十七万七千二百九十二立方メートルを見込みました。また、収益は前年度比四％増の五億五千六十八万八千円を見込んでいます。施設の改善に要する費用としては、前年度比二十四％増の一億三千八百六十九万三千円を計上しています。

ガス事業収益は五・〇％増の八億二千七十三万八千円、同支出は七億九千四百一十一万一千円を見込みました。資本的収入は九・八％増の一億九千四百円、ガスホルダー増設などの工事請負費が三億二千七百七十七万一千円が計上されています。また、同支出は三億六千五百五十五万八千円を計上しています。

下水道事業特別会計は平成五年度から設置され、下水道事業も平成五年の秋に第一期事業認可区域の鳥原地内で、待望の工事に着手する事ができ、平成十年末に予定されている供用開始に向けて第一歩を踏み出しました。工事着手二年目に入る本年度は、昨年に引き続き汚水幹線の工事を行うとともに、面線管渠及び大野一号雨水幹線の工事にも着手します。主な財源としては、国庫支出金一億三千円、一般会計繰入金九千九百七十七万八千円、町債一億五千八百五十万円を計上しました。

## 各会計の予算 ( )は前年度比

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| ■国民健康保険特別会計 | 12億9487万4千円(+4.4%)  |
| ■老人保健特別会計   | 18億7107万1千円(-1.9%)  |
| ■水道事業会計(支出) | 6億8572万3千円(+11.6%)  |
| ■ガス事業会計(支出) | 11億5516万1千円(+11.2%) |
| ■下水道事業特別会計  | 4億9000万円(+21.9%)    |

### 国民健康保険

医療技術の進歩、医療施設の進出など国保をとりまく諸情勢は厳しい状況にあります。が、積極的な保健施設事業や医療費適正化特別対策事業の推進により、国民健康保険事業の安定を図り、経費の節減に配慮して編成しました。また、一般会計事業と連携を図り、地域の実情に応じた被保険者の健康づくり事業の推進に努力します。

### 保険給付費が大幅な減額 国保事業の安定はかる

老人加入増にもかかわらず  
減額が見込まれ、前年度比1.9%減  
の18億7107万1千円を計上

### 老人保健

老人保健の制度が発足して十一年が経過しましたが、老人一人当たりの医療費が県下最高という状態であり、一般会計及び国保会計の負担増となり大変苦慮しています。しかし、さいわいにも平成四年度は微増、五年度は減額が見込まれることから、六年度予算は老人加入増にもかかわらず、前年度比一・九％減の十八億七千七百一十千円を計上しました。歳入は、支基金交付金十三億三千二百二十七万、国庫支出金一億七千七百八十八万七千円、繰入金一億三千七百七十一万二千円など。歳出は大部分が医療諸費の十八億五千九百九十八万六千円を計上しています。

### 水道事業

「安全でおいしい水」をこの住民ニーズに答えるべく、水質監視の強化、浄水場施設の整備及び老朽管の更新等の事業を推進し、経営の健全化に努めます。給水戸数では前年度比で二百二十戸増の七千八百七十戸年間給給水量は三百七十七万七千二百九十二立方メートルを見込みました。また、収益は前年度比四％増の五億五千六十八万八千円を見込んでいます。施設の改善に要する費用としては、前年度比二十四％増の一億三千八百六十九万三千円を計上しています。

### ガス事業

電力、石油等の他エネルギーとの競争や景気回復の遅れ等、厳しい経営環境にあります。しかし、安全対策の強化や安定供給の推進を図るべく、マイコンメーターの導入、ガスホルダーの増設及び老朽管の更新等の事業を推進し、経営の健全化に努めます。供給戸数は前年度に比べ百五戸増の七千二百五十六戸、年間供給量は九百二十万八千立方メートルを見込んでいます。

### 下水道事業

下水道事業特別会計は平成五年度から設置され、下水道事業も平成五年の秋に第一期事業認可区域の鳥原地内で、待望の工事に着手する事ができ、平成十年末に予定されている供用開始に向けて第一歩を踏み出しました。工事着手二年目に入る本年度は、昨年に引き続き汚水幹線の工事を行うとともに、面線管渠及び大野一号雨水幹線の工事にも着手します。主な財源としては、国庫支出金一億三千円、一般会計繰入金九千九百七十七万八千円、町債一億五千八百五十万円を計上しました。

平成5年度より工事着手  
今年度も鳥原地内の工事や  
大野1号雨水幹線工事などを行う

## 公債費 5億6380万6千円

|               |            |
|---------------|------------|
| (+3359万5千円)   |            |
| 町債(町の借金)の返済。  |            |
| ・町債償還金(88件分)  | 2億7941万3千円 |
| ・町債償還金(117件分) | 2億8139万3千円 |

## 議会費 1億863万2千円

|             |          |
|-------------|----------|
| (+549万7千円)  |          |
| ・議員報酬(26人分) | 6496万8千円 |
| ・議員期末手当     | 2552万8千円 |
| ・議員共済会負担金   | 592万8千円  |
| ・議長交際費      | 51万5千円   |
| ・会議録調製委託料   | 220万円    |

## 諸支出金 6910万9千円

|                     |          |
|---------------------|----------|
| (-8208万6千円)         |          |
| おもに将来に備えての積立金       |          |
| ・財政調整基金積立金(利子分)     | 1701万6千円 |
| ・減債基金積立金(利子分)       | 1501万3千円 |
| ・教育施設整備基金積立金(利子分)   | 840万6千円  |
| ・ふるさと創生事業基金積立金(利子分) | 592万4千円  |
| ・地域福祉基金積立金(ハード利子分)  | 473万6千円  |
| ・都市整備基金積立金(利子分)     | 1413万8千円 |

## 予備費 1000万円

(±0)

## 災害復旧費 50万円

(±0)

## 労働費 22万円

|               |      |
|---------------|------|
| (-66万4千円)     |      |
| ・労働者信用基金協会出損金 | 15万円 |

## 商工費 1億5268万2千円

(+872万9千円)

昨年大型店進出などにより本町の商工業をとり巻く環境はさらに影響を受けてきています。このため、町の融資制度資金について商工業近代化資金の貸付利率を現行の6.4%から4.8%に引き下げるなど融資条件の見直しをします。また、商工業の経営資金対策としての産業育成資金の貸付業務についても引き続き実施します。大野町商店街育成のため、共同駐車場の借り上げ料と街路灯の占用料も前年同様助成します。さらに商工会に対し補助金を交付することにより、商工業者に対する一層の指導育成を図っていただくこととし、各種研修会や講演会なども共催事業として実施します。

|              |        |
|--------------|--------|
| ・産業育成資金貸付金   | 6100万円 |
| ・商工業近代化資金貸付金 | 4000万円 |
| ・持家住宅建設資金貸付金 | 558万円  |
| ・黒崎町商工会補助金   | 900万円  |
| ・黒崎まつり補助金    | 730万円  |



## 消防費 4481万1千円

(-210万2千円)

住民の尊い生命、財産を災害から保護するため予消防に力点をおき防災づくりを目指して、防災思想の普及啓蒙に努めます。

|                |          |
|----------------|----------|
| ・常備消防費         | 1127万5千円 |
| ・消防団員報酬(255人分) | 548万9千円  |
| ・消防施設費         | 805万8千円  |



木場地区の農村  
公園整備着手。  
担い手育成の  
ため補助

## 農林水産業費 2億7596万6千円

(+1374万4千円)

農村環境整備は農村総合整備モデル事業で木場地区の農村公園整備を本格的に着手し、関連的に農道、排水路等の整備促進を図ります。水田営農活性化対策にかかる水田転作は前年度比0.5%の強化配分を受けたものの、配分是正の陳情の結果、農家の意向にもとづく水田復帰面積については、県において調整するとの回答を得たので、個人配分率を正式配分率の19.01%から、15%の間で行います。担い手対策は農業の基幹である水稲部門で育成されなければならないため、一定要件を備えた三人以上の経営体に田植機コンバインの補助を町単独事業として行います。また土地利用計画を定め魅力ある農村集落形成のため、板井集落をモデルとして行います。水稲の共同防除は、農業のより安全で効果的に行われるように航空防除を実施します。町民農園は、土に汗して始めて農家の労働の苦しさ、育てる楽しさ、収穫の喜びなどを感じてもらうため、引き続き実施し、無農薬有機農法の理解にも努めます。

|               |          |
|---------------|----------|
| ・農業委員会費       | 1311万6千円 |
| ・農業振興費        | 1789万円   |
| ・水田営農活性化推進対策費 | 1097万6千円 |

|                |          |
|----------------|----------|
| ・農村総合整備事業費     | 8153万4千円 |
| ・農村環境改善センター管理費 | 1099万2千円 |

|      |            |
|------|------------|
| ・農地費 | 1億2134万7千円 |
|------|------------|

〔県営地盤沈下対策事業関連寺地排水路負担金1489万6千円、県営広域営農団地農道整備事業負担金1006万円、県営一般農道整備事業負担金(木場地区)2782万5千円ほか〕

|               |          |
|---------------|----------|
| ・町民農園事業費      | 75万1千円   |
| ・農業農村活性化推進事業費 | 1439万8千円 |

